



2021年10月18日

各 位

会 社 名 リバーエレクトック株式会社
 代表者名 代表取締役社長 若尾 富士男
 (JASDAQ コード: 6666)
 問合せ先 執行役員総務本部長 天野 伸幸
 (TEL. 0551-22-1211)

第2四半期(累計)および通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年10月18日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年5月13日に開示した第2四半期(累計)および通期連結業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期 第2四半期(累計)連結業績予想の修正(2021年4月1日~2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,272	百万円 407	百万円 369	百万円 340	円 銭 44.18
今回修正予想(B)	3,477	602	571	510	61.20
増減額(B-A)	204	195	201	169	
増減率	6.2%	47.9%	54.6%	49.8%	
(ご参考) 前第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	2,550	237	221	224	30.51

2. 2022年3月期 通期連結業績予想の修正(2021年4月1日~2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,722	百万円 846	百万円 778	百万円 690	円 銭 89.46
今回修正予想(B)	7,083	1,090	1,035	833	98.17
増減額(B-A)	361	243	257	142	
増減率	5.4%	28.8%	33.1%	20.6%	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	5,458	577	531	558	75.63

3. 修正の理由

第2四半期（累計）の業績につきましては、水晶製品の高水準な需要を背景に、スマートフォンやその周辺機器向けに加え、無線モジュール向けの受注が好調に推移し、主力である小型音叉型水晶振動子の販売が伸長する見通しです。これらの結果、売上高は当初の予想を上回る見込みであります。利益面においても、この増収効果によって、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が当初の予想を上回る見込みであります。

通期業績につきましては、当面の需要は堅調に推移すると見込んでいることから、第2四半期（累計）業績予想の上方修正を踏まえ、第3四半期以降に見込まれる生産増強に伴う設備立ち上げによる減価償却費の増加等を織り込んだ結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも当初の予想を上回る見込みであります。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上